

2024年7月10日

各位

会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
代表者名 代表取締役会長 浅山 雄彦
(コード: 2927、東証スタンダード)
問合せ先 取締役会長室長 南方 茂穂
(TEL. 054-281-5238)

会社名 株式会社日本予防医学研究所
代表者名 代表取締役会長 浅山 忠彦
(AFC-HD グループ)

富山大学 和漢医薬学総合研究所との共同研究 ベトナム産ショウガ科植物の研究 (続報)

株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス(本社:静岡県静岡市、会長:浅山雄彦)のグループ会社である株式会社日本予防医学研究所(本社:静岡県静岡市、会長:浅山忠彦)は、富山大学 和漢医薬学総合研究所の森田洋行教授らの研究グループとの共同研究において、研究を進めているベトナム産ショウガ科植物 *Kaempferia champasakensis* (ケンファリア チャンパナケンシス)の根茎に、さらに、弱いながらもがん細胞を死滅させる効果のある化合物が含まれていることを科学的に示しましたので、お知らせいたします。

なお、この研究成果は日本生薬学会の科学誌 *Journal of Natural Medicines* に掲載されました。

2024年5月8日公表の通り、株式会社日本予防医学研究所は、富山大学 和漢医薬学総合研究所の森田洋行教授らの研究グループとの共同研究により、ベトナム産ショウガ科植物 *Kaempferia champasakensis* の根の有機溶媒抽出液には、ヒト由来がん細胞を実験室レベルで若干死滅させることのできる2種類のイソピマラン型ジテルペノイドが含まれていることを既に明らかにしております。今回、この根の成分の解析を続けたところ、ヒト由来がん細胞を実験室レベルで中程度死滅させることのできる5種のイソピマラン型ジテルペノイドが含まれていることを科学的に示しました。

本植物の根茎は、ベトナムでは胃炎などの胃の病気を治療する目的で伝統的に利用されてきた植物です。前回の報告と同様に、今回得られた結果は、実験室での細胞レベルに限った解析であるため、動物での抗がん作用を調べる必要はありますが、本植物の根茎は、医薬品や機能性食品などの開発へと応用できることが益々期待されます。

* 学術誌掲載情報 (<https://link.springer.com/article/10.1007/s11418-024-01829-8>)

学術誌名: *Journal of Natural Medicines*, In press. DOI: 10.1007/s11418-024-01829-8

タイトル: Five pimarane diterpenoids from *Kaempferia champasakensis* and their cytotoxic activities

著者: Kiep Minh Do, Shotaro Hoshino, Takeshi Kodama, Hien Minh Nguyen, Naotaka Ikumi, Hiroyasu Onaka, Hiroyuki Morita